

もっと詳しく！

実施報告書
～通常の日①～
by 農スクールスタッフ

日時:20××年××月×日(▲)14:00～16:00(予定)

気温・天候:16～18℃・くもり時々雨

プログラム: 導入編

参加人数:5名(導入編修了者:3名、スタッフ:2名)

特記事項:Nさんより相談を受け、働いているが少し生活保護を受けている状況。そのため7月の基礎編のお金が払えないのだが大丈夫か?というお話

スケジュール

14:30: 集合

14:30—14:35: 挨拶

14:35—15:10: 絹サヤの収穫

15:10—15:35: 畝作り

15:35—15:55: 人参とごぼうの種まき

15:55—16:20: 絹サヤの袋詰め

16:20—16:30: 共有部の草刈り

雨が降り天候が心配でしたが、どうにか作業ができる程度の雨で作業を行うことができました。時間になったので、まず円になって挨拶を行いました。

前回もらった絹さやは昔お弁当に入れて評判が良かったバターで炒め、卵でとじたと M さん、自分はお味噌汁にしたと F さん、雨が心配だったが作業が出来て良かったと N さん。早速前回の絹さやを料理に使われたようで、感想をいただけて良かったです。今週の話を終えた後、農作業を始めました。

まずは、雨が強くなる可能性を考え、雨の弱いうちに絹さやの収穫から始めました。(雨が降ったら小屋の中で袋詰め作業を行うと考えて。) 前回少し早く帰った N さんは絹さやの収穫が初めてだったので、小さいものも収穫するということを伝え、収穫を始めました。前回に比べ沢山の収穫があり、たくさん採れますねと M さんが驚かれていました。絹さやの収穫をした後、前回耕すだけで終わっていた場所に畝を作りました。60cmの幅で4つの端に支柱を刺し、ばかり紐を張り、土を盛っていきました。土を盛った後、クワの横を使い、畝の上を平らにならしていきました(右:写真1)。



畝を作り終えた後、種まきに移りました。今回この畝を作った場所は、他の場所と比べかなり深く掘った場所であり、もともと予定していた根を深く伸ばすごぼうと、大長人参の種を植えていきました。今回種をまく際に種が発芽するための条件に、温度・空気・水分が必要だという話をしました。人参は2列、ポールで溝を作り、2cm程度の間隔で種を落としていきました。人参は発芽するのに上記の3つに加え光が必要なため、浅く溝を作りました。今回2列まいたので、1列は土を被せず、1列は軽く土を被せ発芽の様子を見る実験を行うことにしました。人参を畝の半分に植えた後、もう一方はごぼうを2列、30cm程の間隔に2穴ずつ種をまいていきました（写真2）。

写真2

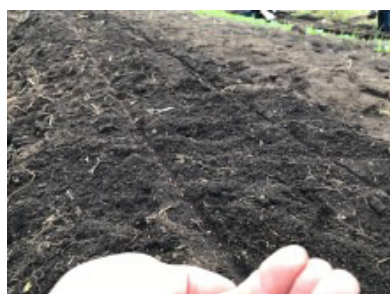


写真3



写真4



種まきを終えた後、次は初めに収穫を行ったきぬさやの袋詰めを行いました。メンバーで試しに重さを測ってみて、1袋50g程度に決めました。割れているものや虫食い穴などがあるものは避け、Mさんがはかりで測り、それをNさんが袋に詰め、Fさんが袋をシーラーで閉じていきました（写真3, 4）。

Fさんはスーパーで働いていたことがあり、使ったことがあるというようなお話をされていました。収穫したものをすべて袋に詰め終わると、18袋出来上がりました。調整作業から販売できる形にするところも経験していただく事で、農業が育てるだけじゃない仕事だと知っていただけると嬉しいなと思いました。

一通り絹さやの袋詰めを終えたところで、16時20分になり、少し時間が余ったので通路部分で草がかなり伸びているところをカマで刈った後、終了時間で作業を終了しました。その後、全体で終わりのあいさつを行いました。最終日だったので雨が降らず天気がもってよかったとNさん、種をまくのがとても楽しいとFさん、収穫が楽しいとMさん。一言ずつ感想を述べた後、Nさんの修了式を行いました。修了証をお渡しし、10回休まずにいらしゃったことをたたえました。Nさんは引き続き基礎編に進まれることになりました。

導入編は次回から人が減り少し寂しくなりますが、引き続き頑張っていきましょう。